

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
鹿児島県	指宿市	指宿・山川・開聞	平成23年度	平成25年度	指宿市担い手育成総合支援協議会

I 経営体毎の成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった理由等	目標達成に向けた具体的な改善措置 及び 目標達成見込時期等
1		農業経営の法人化	法人化に向けて研修に参加しているものの、土地取得等で法人化に至っていない。	研修会に参加し、経営の安定化に対する不安を解消し、平成32年度までに目標達成予定。
2		新規作物の導入	ハバネロは出荷先の確保が難しく、手間もかかり出荷条件も厳しかった。	農協、農政普及課と連携を図り、新規作物の変更を実施し、平成31年度までに目標達成する。
3		新規作物の導入	市場価格の低迷により、作付を控えた。	農協、農政普及課と連携を図り、的確な営農指導を実施し、平成31年度までに目標達成する。
4		農業経営の法人化	法人化するにあたっての人員確保が困難であった。	人員の確保を図りつつ、法人化研修へ参加し、平成32年度までに目標達成予定。

II 地区の成果目標（必須目標）毎の未達成理由等

成果目標項目 （必須目標）	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置 及び 目標達成見込時期等
農業経営の法人化	2経営体のうち2経営体とも目標達成できなかった。それぞれ土地の確保、人員の確保ができなかったことによる。	法人化研修への参加を促し、農業委員会との連携を図りながら、平成32年度までに目標達成予定
新規作物の導入	2経営体のうち2経営体とも目標達成できなかった。市場価格の低迷、出荷条件が厳しく新規作物として導入の確立ができなかった。	農協、農政普及課と連携して、的確な営農指導を図り、新規作物の変更などを実施し、平成31年度までに目標達成する。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取り組み方向

- 担い手への農地利用集積について
農地利用集積等の現状を見ると、名義の問題により利用権設定がうまく進んでいないようである。今後、農業委員会、農地中間管理機構と連携をして利用権設定を推進し、土地利用型作物の導入を図りながら、耕作放棄地の解消にも取り組んでいく。
- 必要となる中心経営体の育成について
中心経営体の育成・確保状況については、市全体では高齢化も進んでいる。青年等就農計画制度を活用し、今後の市の担い手となる中心経営体の育成に努めていく。
- 人・農地プランの作成・見直し等について
現在の人・農地プランは、平成23年に旧市町ごとに作成されており、平成28年度が全体的な見直しの時期になっている。この機会を捉え、農地中間管理機構の活用等を視野にいれながら、地域の現状を踏まえ見直しを実施する予定である。
- 未達成者への対応その他について
構造政策を効果的に推進するため、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後の支援のあり方について、担い手アクションサポートチーム担当者等において検討する。